

■糸川英夫 航空宇宙学者。『日本のロケット開発の父』。マスコミ圧力で引退後は、啓蒙の傍ら本格的な趣味も。

いとかわひでお

明治天皇没・1912= 東京市麻布笄町で、実業高等学校校長糸川荘吉の次男に生まれる。母は梅子。同年の東大銀時計卒業者の鳩山秀夫にちなみ、秀才好きの父から英夫と名付けられるが、

幼少期から異才ぶりを発揮、まず音楽に夢中になり、虫眼鏡を買ってもらおうと太陽光集めて紙を燃やして遊ぶなど問題児でもあり、

ロシア革命・1917= 5歳：我が家に初めて電球がついた際に父が買ってくれた「エジソン伝」を読んで、発明家に憧れ、  
本格政党内閣1918= 6歳：麻布の南山小学校に越境入学、

早くも科学工作を良くし、  
原敬首相暗殺1921= 9歳：早くもマッチ棒ロケットをつくる。

関東大震災・1923=11歳：飛び級で卒業して、第一東京市立中に入学。  
バスケットボール部に所属し、シェークスピア・ギリシア哲学・演劇にも熱中

金融恐慌・・1927=15歳：この年のリンドバーグによる大西洋単独飛行横断ニュースに刺激される、  
共産党事件・1928=16歳：全校を巻き込学校紛擾の首謀者の一人となるも、首席で卒業。東京高校理科甲類に入学、  
3年間学級総代をつとめ、頻発する紛擾に苦しむ一方、音楽部の委員となって、チェロを始め、

海軍軍縮条約1930=18歳：  
満州事変・・1931=19歳：兄から東大でいちばん入試の難しいのが航空学科だと聞いて、\_東京帝国大学工学部航空学科に進み、

芥川直木賞始1935=23歳：卒業。チェロを太田に持参して、\*中島飛行機に入社、帝国陸軍の3社競争させる条件の注文に早速頭角を現して九七式戦闘機の実現に結び付け、一式戦闘機(隼)は失敗するも、陸軍に徴用されて、

日中戦争始・1937=25歳：  
第二次大戦始1939=27歳：\_ミサイルのジェットエンジンを研究・開発するが、実験段階では多くの批判をあびるうち、

日米開戦・・1941=29歳：\_陸軍の命令のままに動かされることに疑問を感じ、軍事技術開発中心ながら制約のない千葉にあった東京帝国大学第二工学部助教授に就任。  
・・・・・1942=30歳：「航空力学の基礎と応用」、

敗戦・・・・1945=33歳：\_敗戦で、GHQによって航空機・宇宙機の研究の一切が禁止されると、趣味のヴァイオリンの研究に没頭、チェロも松下修也に晩年に至るまで学び続ける。

極東裁判決・1948=36歳：\_同教授。  
三大事件・・1949=37歳：\_音響工学で博士号を取得。

独立回復・・1951=39歳：

\_ようやく航空機・宇宙機の研究が認められるようになり、  
テレビ放送始・1953=41歳：\_出張したアメリカで有人ロケットの開発が進められていることを知ると、  
自衛隊発足・1954=42歳：\_東京大学生産技術研究所内に、20年後までに20分で太平洋横断する旅客機の実現を目標とするAVSA(航空及び超音速空気力学)研究班を組織、ロケットに全く乗り気でない国や企業を口説いて回る。

55年体制始・1955=43歳：\*SR研究班に改組し、東京国分寺の新中央工業跡地でペンシルロケットの水平発射実験を行い、秋田県の道川海岸でベビロケットの飛翔実験。

国連加盟・・1956=44歳：\_カッパロケット(K型)を発射。  
なべ底不況・1957=45歳：「宇宙を散歩する」、  
インスタマン・1958=46歳：\_2段式K-6型ロケットが高度60kmに達し、国際地球観測年に間に合わせる。

安保闘争・・1960=48歳：\_K-8-1型ロケットが高度190kmに達し、世界で初めてイオン密度を測定。  
たいがい病始・1961=49歳：\_K-9L-1型高度310kmに達する。日本海側での打上げに限界を感じ、全国調査して鹿児島県内之浦を選び、  
全国総合計画1962=50歳：\_東大の鹿児島宇宙空間観測所が起工、現在に至るまで日本のロケット基地となる。秋田での最後の実験で大事故を起こし、能代に実験城開設。

TV宇宙中継始1963=51歳：\_ミサイルに転用される心配のない重力ターン方式を編み出し、人工衛星の打上げをめざして、ラムダロケット開発に着手、さらにミューロケット(M型)開発にも着手、  
東京テレビ 1964=52歳：\_東大宇宙航空研究所が発足。\_ラムダロケットのL-3-1が高度1000kmに到達。

大学紛争始・1965=53歳：「ロケット」、  
いざなぎ景気1966=54歳：\_以降、ラムダロケットの打上げ失敗続き、漁業者との交渉で一時打上げ中断などになり、  
美濃部都知事1967=55歳：\*朝日新聞に反糸川キャンペーンを張られ、東大を退官。、宇宙開発から引退し(組織工学研究所)を設立、  
大阪万博・・1970=58歳：この年、ラムダロケットL-4S-5により、日本初の人工衛星「おおすみ」の打上げが成功。  
日中国交回復1972=60歳：\_趣味が高じて貝谷バレエ団に入団。\_日本シンクタンク協議会代表幹事として会議「日本の限界と可能性」を開催、海洋開発産業技術を立上げ、組織工学のアプローチ手法を発表し、組織工学研究会を全国展開、

石油ショック1973=61歳：  
角栄金脈辞任1974=62歳：「逆転の発想」はベストセラーになる。  
クランブル事件1975=63歳：\_貝谷バレエ団の公演「ロミオとジュリエット」の伯爵役で帝劇デビュー。ライターグループ(未来捜査局)と共に、20年後の日本を予測した小説「ケースD～見えない洪水」を発表(Dは「最悪のパターン」を意味)。

田中角栄逮捕1976=64歳：\_日本BCL連盟の会長を引受け、情報誌の月刊「短波」の発行人となる。\_「逆転の発想・続」もベストセラー。  
成田衝突・・1978=66歳：\_テレビ番組「スターウルフ」監修。、「逆転の発想・続」。

革新大敗北・1979=67歳：「糸川英夫の細密占星術」、  
貿易摩擦始・1980=68歳：「ケースD～見えない洪水」出版。

・・・・・1981=69歳：「新逆転の発想」、  
中曽根内閣・1982=70歳：「第三の道・インドと日本とエントロピー」、  
ドイツユーボト 1983=71歳：「糸川英夫の入試突破作戦」。以後3年テレビ番組「ミームいろいろ夢の旅」監修。BCL連盟の会長退任。  
・・・・・1984=72歳：

昭和天皇没・1989=77歳：「荒野に挑む」、

ソ連崩壊・・1991=79歳：この年始まったテレビ番組「たけし・逸見の平成教育委員会」に生徒としてセミレギュラーとなり、君付けて呼ばれ、関係者が猛抗議するも、本人は気にせず楽しんで出席。

バブル崩壊・1992=80歳：\_復活の超発想「逆転の知恵」。\_音響工学の見地から手塩にかけてきたヴァイオリンを完成させ、自身の誕生日にサントリーホールでコンサート開催。「八十歳のアリア 45年かけてつくったバイオリン物語」、

55年体制終・1993=81歳：「セオリー・ゲームからの脱出」「糸川英夫の創造性組織工学講座」、  
オムクリン事件・1995=83歳：\_長野県丸子町の山荘に移住、信州国際音楽村の設計に携わり完成に至らしめ、

・・・・・1996=84歳：「21世紀への遺言」。\*自身の誕生日に「海の日記念コンサート」を企画、松下修也・篠崎みどりらと競演し、  
石原都知事・1999=87歳：\_脳梗塞で倒れ、長野県丸子町の病院で療養中、\_没した。砂漠に埋葬。

インターネット、上山明博「技術者という生き方」、